

# 委員会組織を改正

## 3PL協会

### 課題解決へ活動深化

日本3PL協会（和佐見勝会長）は5月、会員企業が抱える共通課題の共有と解決に導く活動の



「人手不足の解決には適正料金収受が不可欠」と和佐見会長

深化を図るため、組織を改正した。EC（電子商取引）物流委員会を含む3つの委員会のうち、人

材・センター運営、効率化の2委員会を「センター視察委員会」に統合。物流現場改善などを図る「センター改善委員会」を新設した。

これまで人材・センター運営、効率化の2委員会は人材育成、物流センター運営の効率化をテーマに活動してきたが、近年は両方とも現場研究を目的とした施設見学が中

心だったことから、活動深化を図り統合した。

新設のセンター改善委員会では、まず会員各社から課題を募り、テーマごとにグループで複数回

会合を持って解決に向けた研究を推進。成果発表を通して、ロボットや最新マテハン導入を含め各社の現場改善に役立つ情報を発信していく方針。

EC物流委員会は従来通り活動し、6月にAI（人工知能）やロボット活用をテーマにした分科会活動の成果発表会を開く。

**カンダ山崎常務が副会長に**

16日に都内で開催した定時総会では、今年度の

事業計画や予算などを協議を決議。

役員改選では、山崎唯理事（カンダホールディングス常務）を副会長、アスクルの川村勝宏執行役員とセンコーの藤田浩二常務執行役員を新しい理事に選任。伊藤昭人副会長（シスナイロゴス会長）、柳沢俊彦理事（TYロジパートナーズ代表）ら3人が退任した。

総会後の懇親会で和佐見会長は「人材不足解決への料金改定交渉とともに、物流効率化に向けた提案を積極化し、顧客と良好な取引関係を築き上げる」ことが重要」とあい

さつ。「人材確保はますます厳しくなり、協会では海外からの実習生受け入れ体制を構築していくことが大事になる。欧米など海外での物流視察会も2年に1度のペースで計画したい」と語った。

（水谷 周平）